



Title	九大數學教室ノ為メニ祈ル
Author(s)	高須, 鶴三郎
Citation	全国紙上数学談話会. 1937, 143, p. 223-227
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/74562
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

637. 九大數學教室ノ爲メニ祈ル

高 須 鶴 三 郎 (東北大)

今日來タ月刊「科學知識」ニ今ニ至ル九大ニ理學部が出來サウナ記事が出テ居タ。時節柄實現ニハ相當ノ困難モ考ヘラレルカ、ソハトモアレ一読次ノキナコトが祈ラレテナライ。コナコトモ大所高所カラ見レバ大ニ本誌ノ目的タル研究連絡ニナラウトイフモノ。乞フ純ナ氣持で一筆ヲ許サレンコトヲ。

○明治以來ノ日本ノ數學界ハ進歩ノスロープが急デ過渡期トイフ色彩が強ク幾多悲喜劇ガアッタ。ソシテ高木博士が先ヅ世界學界から「世界一流」トノ定評ヲ得ラレ(科學知識七月号人物月旦欄参照)昨今又ニ三ノ新進ハ博士ニ近イ水準ニマデ精進ヲツヅケツ、アツテ頼モシイガ今日ノ日本ノ數學界ノ大勢ハ未ダ近來ノ隆々タル國歩ニ比較シテ見レバ遙カニ水準ガ低イト思ハレテナラス。茲ニ於テカ若シ近キ將來ニ於テ九大ニ數學教室ガ出來ルモノトスレバ當否々當事者ハ人選ニ、活動ニ、大イニ慎重考慮ヲ拂ハレテ新時代ニフサハシイモノヲ實現セラレルノデナケレバ何ノ顔ガアツテ國民(殊ニ軍人)ニ見エンヤトイフコトニナル。

○今日マデノ學界ノ一ツノ歎ハ假令素質有爲ノ人物が出テモ環境ガ過渡期デアッタガタメニ第一氣位ガ過去ノ人ノ氣位ニ左右サレテ伸ビ得レダケ伸ビズ頑張り得レダケ頑張ラズニ終リ學位ト地位トガ安定スレバ三十五歳乃至四十歳ヲ眞剣

ノ研究ヲ中止シテモ自他共ニ許スノ概カアルコトデアル。
Study, Hilbert 等ガ六十歳ノ上倚年迄幾年カ活動シ
ツヅケ、六十歳ニ近キ *Cartan* ガ昨今孜々トシテ倦マズ
年々日ニ新ナル研究ヲ発表シテルノヲ見ルトキ、又日本ニ大
學ノ數、大學教授ノ定員ノ少ナキヲ思フトキ、「彼等ハ例外」
ト云ヒ去ルコトハ出來ナイ。尤大教授タル人ハ宜シク *Study, Hilbert, Cartan* 的精力家タルコトヲ必要條件トスル。
病弱ノ人モ許サレナイ。

○凡ソ研究ニハ型ヲ一定シテオクコトハヨクナイコトデ
ハアル。然シナガラ今後ノ大學教授タル人ハ數學史ノ本道ノ
桌中ニ殘ル底ノ研究ヲナス人デナケレバナラナイ。從ツテ尤
大教授タル人ハ着眼ノ大キク高イ人デアルコトヲ要スル。一
生ノ研究ニ數個ノ層ヲ要スル。切れ切れノ中位ノ定理ノ拾集
ハ自然ニ涌クモノハアツテモ宜シイ。然シソレハ大學教授ニ
トツテハ餘曠デアツテ骨ハ別ニナケレバナラナイ。大キイセ
オリーカ、新分科カ、單独ノ定理デモ極メテ意義重大ナ基本
的著シクハ代表的大輪ノ美花(例、大 *Reziprozitätsgesetz*)
デナケレバ學界幾十百年ノ懸案解決(例、*Clawdas / Plateau*ノ問題ニ於ケルガ如ク)ノマウナモノガ一生ニ
數個ハ入ル。今迄ハ日本ノ大學教授向デハ「大學教授」ノ
Begriff ガ、マチマチデアツタ様ニ思ハレル。昔ハ *No Paper professor* デモ自他共ニ平氣ナ人モアツタ。然
シ今日ノ若人ハサウハ思ハヌ。上掲ノマウナ大キイ仕事ヲス
ルノガ大學教授デ新着雜誌ノ尻馬ニ乗ツテ拉張マラ、條件

ノ改良ヲ残ツタ *case* ヲマシメ、ハ高等學校教授ノ必要條件デアルトイフマシ、通念 *Begriff* が普及シテ來テ居ル。九大數學教室デハ完全ニ必要條件ヲ満足シテホシイ。

○大キイ研究ノ一ツノ行キ方ハ組織的研究デアル。組織的研究ヲ他ニ先ンジテレナイマシニ進捗セシメルニハ協力分担ガ必須デアル。此ノ故ニ新シイ大學デハ講座毎ニ助教一人講師一人助手二人位置ケルマシニナツテキル。然ルニ旧大學デハ其レダケ置ケル様ニナツテ居ナイ上ニ在來ノ *Inertia* が「數學研究ニ助手ハ入ラス」トイフコトニナツテ「定員ノ助手ハ圖書其ノ他ノ事務助手ニスル」トイフ通念ニナツテルノダカラヌマラナイ。旧大學ノ強大ニ對スル最大ノ障害ハ茲ニ存スル。九大數學教室デハ宜シク制度ヲ其ノ儘活用シテ正教授ハ學界巨流ノ大 *Leader* ニナツテホシイ。Hilbert, Blaschke, Cartan, Schouten, Veblenノ如クニ！

○近來ノ日本ノ學界ニモ元氣ノイハ、若人ガ殖エタガ、然シ多數ノ若人ノ缺點ハ先進國ノ尖端ニ眩惑セラレ多クノ小刺激ニ惑弄セラレテ自ラ独特ノ大尖端ヲ作ル暇ガナイコトデアル。勿論先進國ノ巨人ノ尖端ヲ自實ニシテソノ先ニ踐リ出デタヘバ先ヲ行クノナラヨイガ、尖端ノ尻馬ニ乘ツテ少シバカリ蠢動シテ巨流ノ尖端顔ヲスルヲデアツテハ今後ノ大日本帝國ノ大學教授トシテハ恥カシイ。新九大數學教室ノ幹部ハ宜シク大勇猛心ヲ起シテホシイ。

○愈々九大ノ理学部ガ實現シテ當局ガ人選ニ移ラレル場

合＝ハ幾人ノ定員ノ充員ノ氣魄ヲ損ヘラレルコトガ肝腎ナル。優秀ナ高校々大學ノ優等卒業生ナルカラトイッテ一度 *No paper professor* 型ヲ許スヤウナ *Begriff* ノ持主ガ一人デモ正教授ノ椅子ヲ奪グト他ノ教授ハ如何程高水準ヲ高唱セウト思ツテモ之レヲ口＝スルコト其レ自身が治安妨害トナツテ其レが出来ナクナリ、將來ノ後継者モ亦卒業生中ノ高点ノ好人物ヲカラトイッテ小論文ヲ賑カ＝出スガケデー生ノ研究＝骨ノナイ人が候補者ニ立ツテモ異議ガ唱ヘラレナクナリ、ソノ教室ハ半永久＝低空飛行場＝ナリ了スコト＝ナル。ソシテ神經ガ麻痺スルト其レが國家＝對スル罪惡ナルトイフ自曉スラナクナリ、徒ラ＝其処＝罪惡ノ無風平和地帯が残ル。恐ロシイ事共デハアルワイ。

○尚、今後ノ大日本帝國大學教授トシテハ上記ノヤウナ専門的高水準ノ外＝人物ノ洗練セラレ人格高級（即チ *well-systematised conscious life* ナスル人）ナ人物デアツテ語學等モ少クモ三ヶ國語手離シデ書ケ、四ヶ國語自由＝読メル程度ノ人がホシイ。英独佛ノ普通ノ文法スラアマリ＝ヒドク、論文デモ一度和文＝綴ツテ後ヨチヨチ歐譯スル程度ノ人デハ優秀ナ後進ノ指導＝差支ヘル。尤大デハ宜シク此ノ点＝モ留意セラルベキデアル。

○憂國ノ餘リ月刊科學知識誌後ノ餘滴ヲ筆ノマヽ＝斯クハ述ベテ見タ、寝テモ起キテモ日本學界ノ向上ヲ祈

ル私ノ病氣ヲ其ノマヽ＝反影シテ！ 自己ノ微カ＝大ノ悲哀
ヲ満喫シツツ！